

議会だより

第41号

木津川市議会



元気に育て早苗たち

(田植えを行う棚倉小学校5年生)

木津川市議会だより 41号

2017 8.1

発行/木津川市議会(市役所5階) ■ 広報編集委員会
発行責任者/議会議長 ■ 発行責任者/議会議長
〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110番地9

印刷/タケダ印刷株式会社
〒610-0115 京都府城陽市観音堂甲畑63
☎0774-53-9643 ☎0774-55-2754 E-mail: info@takeda-print.com

地球環境に配慮した用紙とインクを使用しております。

議長あいさつ	2
中央体育館の改修が始まる 本会議	4~5
政務活動費の公開	10
19人が市政を問う 一般質問	12~21
市民と議会のつどい	23

わたしの意見

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(220字以内)



霜田 勤さん (木津川台)

学習支援活動から見たこと

一昨年から生活支援の一貫として京都府助成で学習支援の活動を続けてきた。この活動を続け参加者が高校に合格でき、皆でとても喜んでいる。週2度4人

の教師と母子会役員さんとの共同作業である。学習の中心は数学と英語の基礎を学ぶこと。そして、考える力を養うこととして

今後、小学校教育に英語が導入されるが、環境不十分な状態ではと心配している。一方、私どもはこの支援で少しでも子どもの未来が開かれることを願うのみである。自治体の教育再投資を願ってやまない。



三宅 広大さん (加茂町高田)

木津川市産のお茶を急須で

私はお茶農家の担い手として、日々宇治茶作りに励んでいます。宇治茶は、木津川市でも古くから生産加工が行われてきました。しかし、その生産地です

え、近年お茶を急須で入れて飲んでくださる方が減ってきています。とても寂しいことです。「お茶の京都」として、お茶のターゲット・イヤーに位置づけられた今年。多くの皆さんに木津川市産の宇治茶の魅力を知っていただけるよう、われわれ生産者も精一杯努力していきま



今井 清美さん (山城町上粕)

地域の子どもたちは宝物

子どもを取り巻く環境も時代と共に大きく変わりました。子どもを守るべき大人が愛すべき我が子の命をあやめたり、悲しい事件が後をたちません。夕暮れ時、

近所では子どもたちの遊ぶ元気な声が聞こえてきます。「もう帰りや」「気つけてな」。私たち大人が子どもたちに「声かけ」をすることは子どもを守っていく第一歩だと思います。「おはよう」「いつてらっしゃい」。挨拶は、私たち大人から子どもたちに簡単にできる素敵な言葉です。安心・安全な木津川市で子どもたちが育っていかれることを願います。

今回から新メンバーで、広報編集委員会がスタートしました。限られたスペースの中で表現することの難しさもありますが、市民の皆さんに、できる限り分かりやすい文章や写真での紙面作りに取り組みしていきたいように努力をしてまいります。一同気持ち新たにしているところです。

編集後記

これから「わたしの意見」コーナーへの参加もお願いいたします。河口 靖子

委員長	河川 靖子
副委員長	柴田 靖子
委員	伊藤 雄一
委員	森本 隆一
委員	谷口 靖子
委員	森本 隆一
委員	伊藤 雄一
委員	西岡 治
委員	井岡 治

お知らせ

9月定例会は8月31日(木)からはじまります。詳しい日程は、6ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240
FAX 0774-72-8952
E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp



議会だより第41号の発行にあたって

議長 高味 孝之

市民の皆さんには平素から議会活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

5月15日の臨時会におきまして、議長に就任しました。身に余る光栄であり、その職務の重大さを痛感し、決意を新たにいたしております。

今年、合併から10周年の節目を迎えました。この間、いち早く議会基本条例を制定し、開かれた議会を目指してまいりました。

今後は、単に突き進むだけでなく、今までのやり方がよかったのかどうか、また議会の独立性をどのように発揮していくべきか、検証して進んでいく時期にきたのではないかと考えております。

また、議会広報におきましても、議会を身近に感じていただけるように、分かりやすい紙面づくりに心掛けてまいりたいと思っております。

引き続き、市民の皆さんには変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさついたします。

議会二役

議長 高味 孝之
副議長 尾崎 輝雄
監査委員 島野 均

総務文教常任委員会 (7人)

厚生常任委員会 (7人)

産業建設常任委員会 (7人)

クリーンセンター建設特別委員会 (10人)

※委員氏名は各委員会のページをご覧ください。

委員会

議会運営委員会(7人)

委員長 高岡 伸行

副委員長 宮嶋 良造

委員 長岡 一夫

島野 均

谷川 光男

倉川 克伊

西岡 政治

会派

〈さくら会〉

幹事 高岡 伸行

倉川 克伊

尾崎 輝雄

伊藤 紀味枝

山本 和延

森本 隆

谷口 雄一

西岡 政治

長岡 一夫

河口 靖子

炭本 範子

高味 孝之

〈日本共産党木津川市議員団〉

幹事 酒井 弘一

森岡 謙

宮嶋 良造

西山 幸千子

〈木津川の会〉

幹事 森本 茂

片岡 廣

谷川 光男

島野 均

柴田はすみ

九社前幸朗

〈会派に属さない議員〉

臨時会

後半2年の正副議長を選出(立候補制)

5月15日、臨時会を開会。専決処分の承認10件・同意1件を審議し、全ての案件を承認・同意した。その後、申し合わせにより、正副議長が辞職し、選挙を行った。

28年度 一般会計補正予算

予算総額から7億5629万円減額し、306億8385万円とする。

Q 今後は、事業の繰り越しをしないために、早期発注を計画すべき。

A 早期発注に取り組む。

全員賛成で承認

28年度 公共下水道事業 補正予算

予算総額から9624万円減額し、20億7179万円とする。

全員賛成で承認

28年度 水道事業補正予算

資本的収入は、予算の総額を1億4521万円増額し、8億2628万円とする。資本的支出は、予算の総額を9552万円増額し、11億374万円とする。

全員賛成で承認

立候補表明の概要

議長候補

高味孝之

副議長候補

尾崎輝雄

議会は合議体としての環境づくりが重要。ゴールのない改革に取り組み、議会の独立性を発揮する。

少子高齢化対策や民生費の増大への対応、今後、行財政改革と生産人口の増加を推進したい。

高味孝之18票・白票4票

尾崎輝雄16票・立候補者以外1票・白票5票

Q 市が購入した城山台九丁目1番地のURの開発分担金はいくらか。

A 1億1492万円。

賛成討論

監査委員の選任

議会選出の監査委員に市長から島野均の提案があり、同意を求めた。

議会選出の監査委員は申し合わせにより、会派幹事会で選考し決定するとなっている。申し合わせは会議規則と同様に重要であり、賛成。

反対討論

議会の役割は民主的ルールで決定すべき。市民の意思(選挙)を反映さ

賛成多数で同意

(賛成15人・反対5人)

ワード 繰越明許

事情で、その年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て、翌年度に限り、繰り越して使用できるようにする予算



木津高アクセス道路 (現在の通学路)

Q 土木費の繰越明許の内容は。
A 道路新設改良事業費で、加茂町大畑地区への道路2-15の工事の用地整理。
木津山田川線の道路案内看板の改修。
木津内田山線の道路改良事業で、木津高アクセス道路関係の設計業務。
東中央線関連道路整備事業で、道路の用地費と物件の補償料。

意見書

特別徴収税額の決定・変更通知書への個人番号記載に関わって、地方税法施行規則の改正を求める

提出者 総務文教常任委員会

「個人に関する情報をみだりに第三者に開示又は公表されない自由」を保護するためにも、地方税法施行規則を改正し、通知書の様式からマイナンバー記載欄をなくすことを求めるもの。

提出先 衆・参議院議長 内閣総理大臣他

全員賛成で可決

日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現へ真剣に努力するよう求める

提出者 西山幸千子 九社前事朗
賛成者 九社前事朗

核兵器の全面禁止に背を向ける態度を改め、国連本部で開催されている交渉会議に参加し、核兵器禁止・廃絶を提起し、条約実現に努力を求める。

提出者 衆・参議院議長 内閣総理大臣他

賛成多数で可決 (賛成12人・反対9人)

共謀罪法(改正組織犯罪処罰法)の異常な採決に抗議する

提出者 酒井 弘一
賛成者 酒井 弘一

国際社会と協調し、組織犯罪と戦うのは重要であり、法整備を進めていくべき。

中間報告での採決は、国会法に定めがあり適切。

賛成討論 TOC条約は日本の主張で起草時にテロを除外した。中間報告という禁止手での強行採決は民主主義と国民への暴挙であり、強く抗議する。

可否同数 (賛成9人・反対9人・退席3人)

議長裁決により否決

今回の暴挙に強く抗議する。臨時国会を開き、安倍内閣と与党が国民の疑問に答えることを求める。

反対討論

高岡 伸行

平成29年 第3回(9月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
8月	24日	木	議会運営委員会(議会招集告示)	第1委員会室(5階)
	31日	木	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
9月	1日	金	本会議(予備日)	議場(6階)
	4日	月	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	5日	火	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	7日	木	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	8日	金	クリーンセンター建設特別委員会	第1委員会室(5階)
	11日	月	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
	12日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	13日	水	本会議 一般質問	議場(6階)
	19日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	20日	水	本会議 一般質問	議場(6階)
	21日	木	決算特別委員会	全員協議会室(5階)
	22日	金	決算特別委員会	全員協議会室(5階)
	25日	月	決算特別委員会	全員協議会室(5階)
	27日	水	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	28日	木	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	29日	金	本会議(予備日)	議場(6階)

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- 本会議・委員会は、9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の様相や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

コミュニティ助成や 社会教育施設等に予算を計上

補正予算特別委員会

6月20日に委員会を開会。29年度一般会計予算を28422万円増額し、297億1642万円とするもの。全員賛成で可決。

主な質疑

Q マイナンバー記載の特別徴収納税通知書の発送を、普通郵便から簡易書留とした時期は。また、なぜか。

A 3月下旬。近隣市の動向により、相楽地域で協議し安全に届けるため。

Q 相楽通級指導教室が増設されたが内容は。

府の委託事業で教育支援を充実

また、職員の報酬はどうなっているのか。

A 精華台小に新たに開設し、南加茂台小に1クラス増設。報酬は府費より支出。

Q いじめ対策・不登校支援推進事業は市内の全小学校が対象か。

A 別室登校を支援する事業で、各学校から募集をしたところ、人数も別室登校も多い梅美台小と加茂小に決定した。

加茂文化センターの駐車場整備

Q 加茂文化センターの駐車場整備費が14台分まで200万円以上になっている。もっと安価にすべきでは。

A 低価格になるよう対応する。

赤田川改修事業

Q 赤田川改修事業に伴う員鍋川の費用1千万円は適正か。府としっかり協議せよ。

A 十分精査した。府となるべく早く協議する。

コミュニティ助成事業

Q 城山台の集会所はまだ建設されていないのに補助金が決定したが、これからの予定は。

A 30年3月から供用開始予定。それに合わせてパソコン、プリンター、テレビ等の購入に助成を行う。



集会所予定地(城山台)

補正予算の主な事業

- ・不登校児童生徒支援モデル事業(適応指導教室) 157万円
- ・自治会・自主防災会に対するコミュニティ助成 400万円
- ・マイナンバー記載に配慮し納税通知書を書留で発送 289万円
- ・中央交流会館空調設備の改修・加茂文化センター駐車場の確保 754万円

委員長 柴田はすみ
副委員長 谷川光男

- 委員
- 谷川 光男
 - 長岡 一夫
 - 西山 幸千子
 - 山本 和延
 - 伊藤 紀味枝
 - 炭本 範子
 - 片岡 廣
 - 倉井 克伊
 - 酒井 弘一

中央体育館の改修始まる

総務文教委員会

6月13日に委員会を開会し、議案2件、請願1件、報告3件を審査した。

全議案可決、請願は一部採択

委員長	炭本 範子
副委員長	森本 隆
委員	河口 靖子
	柴田はすみ
	森本 茂
	宮嶋 良造
	倉 克伊

非常勤消防団員の公務災害補償の見直し

政令の改正に伴い、補償基礎額について、扶養親族がある場合の加算額を改定するもの。

Q 配偶者への補償額が減額となる。

A 市が補てんするよう検討はしたのか。

Q 団員702人の家族構成は把握しているか。

A 災害等で必要となった場合に情報を得たい。

反対討論

配偶者の減額する分は市が支出すべきである。

賛成多数で可決

中央体育館改修工事の契約

昭和61年建設の中央体育館は約30年経過し、老朽化している。

1億6254万円で宮城建設が落札。工期は30年5月31日まで。工事内

容は、屋根改修、防水改修、外壁改修、電気設備、機械設備等。

反対討論

配偶者の減額する分は市が支出すべきである。

賛成多数で可決

Q 屋根部分、カバー工法と考えるよいか。

A 腐食が広範囲で、屋根全面をカバーすることに対応する。

Q 避難所としての工夫はしているのか。

A ガラスに飛散防止フィルムを貼り、照明はLED化する。

Q 補助金等の活用は。

A 緊急防災・減災事業債で対応し、元利償還金の70%は、交付税算入される。

全員賛成で可決

「特別徴収税額の決定・変更通知書」への個人番号記載に関する改正を求める」請願

請願者の説明と関係する部課長の状況説明を受けた。

自由討議、討論の後、項目ごとの採決となった。

反対討論

府の指導や行政の判断から「市に対して改善を求める」項目には反対。

賛成討論

国に是正を求め、市の改善する考えに議会が応援することになり賛成。

2項目のうち「国に意見書を提出すること」は

全員賛成で採択、「改正されるまでの間、マイナンバーを記載しない」とは賛成少数で不採択。

報告案件

29年度学研都市京都土地開発公社事業計画・予算の報告。



後列左から 宮嶋、柴田、河口、倉、森本茂
前列左から 森本隆、炭本、高味

国保補正予算を可決

厚生委員会

6月14日に委員会を開会し、議案1件、報告1件を審査した。

全議案可決

委員長	酒井 弘一
副委員長	長岡 一夫
委員	谷口 雄一
	高岡 伸行
	森岡 謙
	島野 均
	谷川 光男

国保会計補正予算1号

歳入、歳出とも998万円を増額する。

Q 電算費のうち1件は高額療養費、3件は国保の広域化に関するもの。広域化の説明を。

A 今年度に入ってから必要額が判明し、今回補正した。府の国保運営協議会は、7月・8月・11月に協議を行い、1月に府の方針を決定する予定。

Q 国は子ども医療費助成で、就学前児童についてはペナルティを廃止する。しかし、小中学生で



後列左から 谷口、島野、谷川、森岡、高岡
前列左から 長岡、酒井、高味

は継続としている。市はどうするのか。

A 小中学生についてもペナルティの廃止を引き

続き、強く求めていく。

全員賛成で可決

企業立地促進条例の一部改正

産業建設委員会

6月15日に委員会を開会し、議案1件、報告2件を審査した。

全議案可決

委員長	片岡 廣
副委員長	山本 和延
委員	西山幸千子
	九社前幸朗
	伊藤紀味枝
	尾崎 輝雄
	西岡 政治

府条例の改正に伴う条例改正

Q 3月議会において、一部改正されたところであるが、今回は文言の一部改正のみである。提案に至るまでの経緯、変更内容は。

A 府は営利企業を限定して企業立地を進めてきたが、非営利企業法人であっても課税対象となる事業を進め、地域経済の活性化をもたらすことが認められるとして、「企業等」という文言に変更した。

府の条例改正が3月であったため、今回の提案

となった。

Q 改正に伴い、市としてどのような方向付けが見込まれるのか。

A 市内経済の活性化につながる企業誘致になる可能性はある。

全員賛成で可決



後列左から 九社前、西山、伊藤、西岡、尾崎
前列左から 山本、片岡、高味

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載
賛成=○ 反対=× 退席=△ 欠席=空白 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名					
		第1回臨時会	第2回定例会				
		監査委員の選任	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	修正動議 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	特別徴収税額の決定・変更通知書への個人番号記載に関わる改正を求める請願書 (市は、地方税法施行規則が改正されるまでの間、通知書に「マイナンバー」を記載しない取扱いとすること)	日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現へ真剣に努力するよう求める意見書	共謀罪法(改正組織犯罪処罰法)の異常な採決に抗議する意見書
谷口 雄一	さくら	○	○	×	×	×	×
森本 隆	さくら	○	○	×	×	×	×
高岡 伸行	さくら	○	○	×	×	×	×
山本 和延	さくら	○	○	×	×	×	×
伊藤 紀味枝	さくら	○	○	×	×	×	×
尾崎 輝雄	さくら	○	○	×	×	×	×
倉 克伊	さくら	○	○	×	×	×	×
長岡 一夫	民主未来	○	○	×	×	○	○
河口 靖子	民主未来	○	○	×	×	○	○
炭本 範子	民主未来	○	○	×	×	○	○
西岡 政治	民主未来	○	○	×	×	○	○
西山 幸千子	共産	×	×	○	○	○	○
森岡 譲	共産	×	×	○	○	○	○
宮嶋 良造	共産	×	×	○	○	○	○
酒井 弘一	共産	×	×	○	○	○	○
森本 茂	木津川	○	○	×	×	○	△
片岡 廣	木津川	○	○	×	×	○	△
谷川 光男	木津川	○	○	×	×	○	△
柴田 はすみ	公明	○	○	×	×	×	×
島野 均	公明	△	○	×	×	×	×
九社前 隼朗	無会派	×	×	○	○	○	○
高味 孝之	議長	-	-	-	-	-	×
採決結果		同意	可決	否決	不採択	可決	否決※

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員
※可否同数となり、議長裁決により否決

30年10月竣工に向け 工事は順調に進捗

クリーンセンター建設特別委員会

主な質疑

Q 繰り越しの金額は、
A 36億3千万円のうち
21億8千万円。

Q 施設の保証期間は、
A 3年間。ただし、重
大なかし(欠陥)は10年
間である。

Q 性能試験は稼働後に行うのか。
A 稼働後、排ガス処理
が適切か確認する。

Q 地元区との監視委員
会の設置時期は。
A 供用開始までに設置
できるように準備する。



後列左から 宮嶋、尾崎、九社前、島野、河口、森本隆、西岡、高岡
前列左から 森本茂、森岡、高味

終了後、工事現場で進捗状況について説明を受ける。

政務活動費の領収書等をHPで公開へ

これまで政務活動費収支報告書および支出した領収書、報告書等の関係書類については、議会図書室で閲覧することで情報の開示を行ってきましたが、より透明性を高めるために29年7月よりホームページでも公開しています。



平成28年度政務活動費収支報告 (※会派名および構成は3月末現在) (単位:円)

会派名	さくら会	民主未来クラブ	日本共産党木津川市議員団	木津川市 自民党議員団 (現:木津川の会)	公明党	谷川 光男 (H28.4~H29.2)	九社前 隼朗	
交付額	840,000	600,000	480,000	240,000	240,000	77,000	84,000	
支出額	782,845	606,334	599,742	214,627	216,784	79,438	90,135	
支出内訳	調査研究費	204,020	91,170	0	203,310	103,120	0	52,345
	研修・会議費	0	0	70,720	0	63,972	0	0
	広報費	569,835	456,792	455,484	0	0	0	0
	広聴費	0	0	11,200	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	29,280	0	0	0	0
	資料作成費	7,730	5,700	14,130	6,220	1,740	4,055	5,390
	資料購入費	0	34,416	3,490	3,837	40,536	55,505	32,400
事務費	1,260	18,256	15,438	1,260	7,416	19,878	0	
返還額	57,155	0	0	25,373	23,216	0	0	

公共施設統廃合計画の見える化を
先進自治体を参考に取り組み

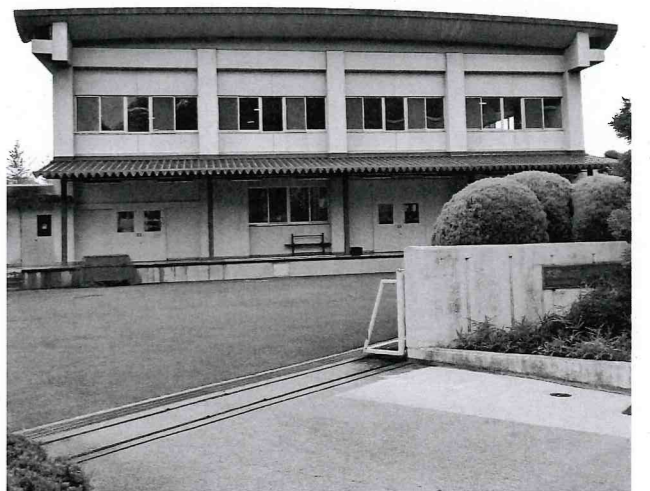
Q 今後30年間で市保有施設延床面積の28%削減を目指す公共施設等総合管理計画の進め方について問う。
①消防・病院施設等についてはどう考えるのか。
②木津ニュータウンの施設が少なく、対応しない



さくら会 森本 隆

の。③図書館の体制は今後30年間変更しないのか。④公共施設の統廃合については、福知山市を参考に、小中学校区ごとに見える化して、市民に分かりやすく進めることを要望する。

ふるさと納税の新提案
Q ふるさと納税を問う。
①昨年度の実績、他市への流出額は。
A 政策監①昨年度総額は約7500万円。流出額は約1308万円。②ふるさと納税はまちづくり事業に広く活用するものであり、メニューの細分化は考えていない。



統廃合後の活用検討が必要な木津給食センター

安心・安全な新給食センターを
HACCPに基づき進めたい



今後も安全安心な給食の提供を

Q 現在の木津および山城の給食センターで、衛生基準に何が不適合でどのような改修が必要か。
A 教育部 食材の搬入区分や、汚染区域など、作業区域の明確な区分がない。改修は、部屋を増やすなどしか方法はなく、現敷地では困難。

Q 新学校給食センターは、①より安心安全な食の提供を。②地産地消と地元雇用の拡充を。③リスク回避の対応は。
A 教育部①HACCPの手法(世界保健機構が推奨する衛生管理手法)に基づき進める。②地元食材は購入ルートの



さくら会 倉 克伊

体制の構築を図るとともに地元雇用の拡充に努める。③最新機器の設置や二献立制導入などでリスク回避を図る。
市民が使いやすい助成を
Q 本格・簡易耐震改修およびシェルター設置の助成制度の利用が少

ない。PRの充実を。
A 建設部 広報紙やHPに加えて、昨年から地域長会や社協などでも周知を行っている。
Q 特に危険な空家を早急に把握し対応すべき。「空家バンク」は、移住・定住に向け、地元事業者と協力すべき。
A 市民部・マチオモイ 対応に努める。

歩行者や自転車利用者の安全確保
早期完成に向けて要望する



56年間ありがとう(昭和36年6月改築の旧赤田川水門)

Q 天理加茂木津線(加茂町大野)整備区間の状況は。
A ①計画している路線の位置・起終点は。②事業延長および幅員計画の見直しは。③工期の見直しは。
建設部①赤田川水門から集落の東側、木

津川寄りルートとして検討している。
②延長約370メートル、幅員10・5メートル。
③今年度は詳細設計と用地測量の実施。その後、工事着手の予定。
滋賀県野洲市を手本に
Q 子どもの貧困支援の



民主未来クラブ 河口 靖子

拠点と脱びきこもり等の支援は。また「縁創造実践センター」に学ぶべきである。
A 市長 関係団体と連携して進める。
野洲市長には時々会うので、直接伺いたい。

市民に対する接遇教育を
Q 市民から職員への接遇が悪いとの連絡があった。
A 事務手続きなどの説明が的確にできる教育を行っているか。
A 市長 職員の対応は市の顔であることから、十分研修して職員を育てる。



民主未来クラブ 西岡 政治

合理化事業実績や今後の予測を踏まえ、相楽郡広域事務組合と構成市町で協議を進めていく課題。
天井川上流対策を
Q 集中豪雨に備え、市内天井川上流の点検・調査・対策と今後の河道内管理の徹底。土石・

流木防止対策は。
A 建設部 河川内状況等を目視で確認。適宜、竹の伐採、護岸の補修等を実施した。
今後、河川の通水を阻害すると判断した時は、河道内の伐採、しゅんせつ等を行う。



し尿等搬入量の減少で合理化が課題の大谷処理場

合特法の計画策定を
広域事務組合と関係市町の課題

Q 国は、下水道整備等が行われることにより、経営に著しい変化に対応するため、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」(以下「合特法」)を昭和50年に制定した。
法律的には、市町村が

「合理化事業計画」を定める必要があるが、計画期限が終了している。これまでの合特法の取り組みの経過と合理化事業計画の再策定を。
A 市民部 今日まで、相楽郡広域事務組合において取り組んでいる。再計画は、これまでの

合理化事業実績や今後の予測を踏まえ、相楽郡広域事務組合と構成市町で協議を進めていく課題。
天井川上流対策を
Q 集中豪雨に備え、市内天井川上流の点検・調査・対策と今後の河道内管理の徹底。土石・

将来を見据えたまちづくりを
府とも連携して進めていきたい

Q JR木津駅周辺は公共施設が集中し、シビックゾーンでもある。①駅西と駅東を結ぶルートは早期進展を。②駅東は農振地であるが、住民の意向は。雨水排水の関係は。③国道24号の今後の取り組みは。④市道木335号は歩道もなく、

危険であり改善を。**A** 市長・建設部①1筆未買収地があるが、できる所から工事着手する。②市街化や営農を望む方などがあり、いろんな方向づけの可能性の中で取り組みを進めたい。内水問題は国・府・市で調整を図っている。③用

地買収は完了。電線類の地中化の工事に着手。④必要性は十分認識している。調査を検討する。**Q** 宇治木津線について問う。①木津川架橋、東中央線、天神山線の進捗状況は。②国道24号の代替道路となり、防災面等にも重要な道路と考

えるが、宇治木津線の概略ルートは。早期実現を。**A** 市長・建設部①橋梁工事は今年度で完成。JR跨線橋の上部工事、木津東バイパスも今年度に工事を着手。②防災面・企業誘致や観光面で重要な道路となるが、決定していない。府とも連携していく。



さくら会
伊藤紀味枝



駅東と駅西をスムーズに結ぶ道がないJR木津駅

国保税を値上げしないこと
税率等の引き上げを検討する

Q ①国保税は来年4月の広域化でも上げないこと。②規則に従い、低所得者に医療費の減額や免除を。③無料低額診療所の紹介を。**A** 市民部・健康福祉部①厳しい財政だ。税率等の引き上げを検討。②該当者はいない。広域

化で基準などを議論中。③公表は府と協議する。**Q** ①2年前の介護保険料の値上げは必要なかった。②介護の基金を使い、保険料を値上げするな。

A 健康福祉部①介護量の増加見込みで上げたが黒字の見込み。②基金を使い、決定する。**Q** 研究地区にふさわしいか

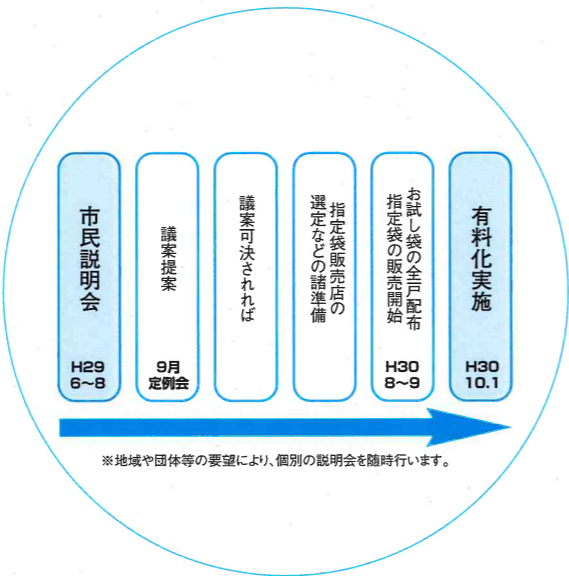
A 建設部・マチオモイ学研に合うものをお願いしたが、できなかった。商業施設も建てられる地区である。**Q** ①有料化でなく、工夫と努力で減量すべき。②低所得者への配慮は。③不法投棄や不適切な排出が増える。対応は。**A** 市民部①有料化で減量化施策を進める。②ない。③十分な周知を行う。



日本共産党
宮嶋良造



家計負担になる有料指定ごみ袋 (他市)



ごみ有料指定袋制導入の今後のスケジュール

ごみ減量化の着実な推進を
全職員が一丸となって取り組む

Q ごみ減量化施策として家庭ごみの有料指定袋制導入の方針が策定された。①広く市民の理解が得られるよう、周知・啓発が必要では。②資源化が可能な雑紙の分別促進が不可欠。雑紙回収袋の配布は。③資源ごみや粗大ごみ有料化の可能

性は。**A** 市長・市民部他①小学校単位14カ所で開催を。今後は広報・HPのみならず、要望があれば、出前講座を行う。②家庭での分別回収の啓発も含め、検討する。③有料化は家庭系可燃ごみを対象とする方針

A マチオモイ①29年度740万円。山城地



さくら会
谷口雄一

Q お茶の京都・観光戦略は①お茶の京都DMOへの負担金は。積極的な協議を。②市の観光アプリ「きづがわなう」の利用実績が伸びていないが。**A** 観光協会が管

文化施設等の休館日見直しを
施設全体の検討・調整が必要

Q アスピアやましろの利用実態は。①利用状況と稼働率は。②山城支所別館の利用状況と稼働率は。③文化施設等の休館日、月曜日の一部見直しをする考えは。**A** 教育部・市民部①28年度アスピア利用者

は9万835人。稼働率は45・6%である。②同年度5156人。稼働率は49・8%である。③変更の声は少ないが、今後見直しも必要と考える。**Q** 企業と地元との連携は

企業への助成金制度の成果は。①誘致のメリット・デメリットは。②進出企業と地元中小企業との関係・連携は。③新たな進出見込みは。**A** マチオモイ①地元雇用の拡大等。デメリットは特になし。②市内企業との連携・取り組みを模索し、さらに研究を深めていきたい。③誘致決定に向け進める。



木津川の会
谷川光男

Q 通学路をより安全に。①防犯カメラの設置状況は。②定期点検および通報と処理件数は。③事故多発地帯の対策は。**A** 総務部・教育部①42基設置。②通学路安全推進会議等で合同点検年間約10件を対策済み。③看板や路面標示をした

Q 通学路の安全チェックを



卒業生も見守り隊と一緒に活動

アレルギー対応は後退するのか

アレルギー対応は後退するのか

Q ①加茂給食センターの細やかなアレルギー対応(25品目)とレベル4を市全体の目標とせよ。②山城センターは衛生管理基準を守れないのか。

A 教育長・教育部①センター運営、調理場での危険度を下げること



日本共産党 西山幸千子

Q ②厨房機器は古い、工夫と努力で運営している。敬老乗車証の導入を

Q ①高齢者の運転免許証の自主返納数は。②高齢者のための福祉パスの考え方はないのか。

A 総務部・マチオモイ①制度ができてから

②増えており、一日乗車券の申し込みも増えている。②考えはない。国交省の指標で、他市と比べて極めて利用しやすいコミバスと評価されている。

Q ①非核・平和都市宣言をしてから10年。

いまだにHPに掲載がない。分かるようにせよ。②市が加盟している平和首長会議が提唱する青少年の平和と交流支援事業を進めよ。

A 市長・教育部①今後考えていく。②戦争の体験談も取り入れながら学習している。



デマンド型コミバス (予約タクシー)

保育園の民営化計画をやめよ

市民の意見等を受けて計画を修正

Q ①パブリックコメントは、非常に多くの意見が出された。大半が計画案に対する批判と不満だった。市民の具体的な意見は何か。②民営化一辺倒の計画をやめ、大幅に修正するべきだ。③4月当初からすでに22人の待機児童。早期解決を

Q ①保健福祉部①統廃合で保育園がなくなる

A 目指せ。②木津保育園を公設公営で残す、相楽台保育園の統廃合を延期するなど計画の一部を変更した。③入所できる保育枠はあったが、さまざま理由で保護者が待機を選択。個々のマッチングに努めている。

Q なぜこんな乱暴な計画案がつけられたのか。市民や保護者の疑問、批判、不満にしっかり答えよ。

A 市長 計画は財政的な背景がある。疑問



日本共産党 酒井 弘一

や批判には丁寧に答えていく。

納税通知書と個人番号

Q 今回の国の指導は極めて不適切。その結果、全国で混乱と誤送付の事件が発生。個人番号の記載をやめよ。

A 総務部 関係市町と相談して、今後の対応を考える。



雑草が邪魔な南後背バス停付近



計画案に保護者が動いた木津保育園

子育て世帯に住宅取得支援を

教育、防災、福祉等総合的に行う

Q 企業進出には優遇策があるが、個人に対しても検討しては。

A 転入推進策で住宅取得(子育て世帯)支援を。②出産祝い金を出しては。

A 政策監・健康福祉部①いろいろなサービ

Q 南後背バス停付近のJR線路沿いのフェンスから雑草がはみ出し、歩行者、自転車通行者に変危険である。事業者に要請を。

A 市民部 鉄道軌道敷地内の雑草は地域要望もあり、要請する。

Q ひきこもり対策は

A 市民部 一億総活躍社会の中、ひきこもりの人が多数おられる。ひとりも漏れなく希望がもてる社会になるよう



公明党 島野 均

を実施。

Q 西木津から木津間の雑草

A 市民部 鉄道軌道敷地内の雑草は地域要望もあり、要請する。

Q ひきこもり対策は

A 市民部 一億総活躍社会の中、ひきこもりの人が多数おられる。ひとりも漏れなく希望がもてる社会になるよう

対策を。

A 教育部・健康福祉部 児童に対しては各学校で支援し、ひきこもり解消に取り組んでいる。成人は「脱ひきこもり支援センター」(京都府)と連携する。

小中学校の教職員の負担軽減策は

ノー部活デーの設定等を実施

Q ①文科省が公表した公立学校教員の勤務実態調査の結果をどう認識しているか。また、本市の実態は。

A 教育部①教員の心身の健康等に影響を及ぼし、質の低下につながる。市の現状は、全国平均か少し下回るものと認識。

Q ②軽減策を考えているか。内容は。

A ②週1回のノー部活デーや、20時以降の残業をやめるよう進めている。③府の指導員も視野に入



公明党 柴田はすみ

れながら対応する。産後うつ病に

Q 産後うつ病や虐待防止に産婦健康診査が重要だが、考えは。

A 健康福祉部 妊娠から子育て期における支援体制を構築する中で検討する。

Q 民設民営のことも園などの訪問はどの点をチェックしているのか。

A 健康福祉部 保育士の適正確保や適正に運営されているかを確認。防犯対策の強化を

Q 防犯カメラ設置やドライブレコーダー導入は進めているのか。

A 総務部 防犯カメラは警察等と相談しながら、計画的に進める。



教職員の負担軽減を (木津中学校クラブ活動)

2020ホストタウンに申請を ハードルは高いが問い合わせる



さくら会
高岡 伸行

Q 国では東京オリンピック・パラリンピックで、海外からの選手や応援関係者等の交流に向けたホストタウン事業を進めている。取り組みがきでは。

A 教育長 きつかけがなく、ちゅうちよし

Q 東京競技大会推進本部に相談し、申請すべきでは。

A 教育部 28年10月に勤務実態調査を行った結果、中学校での部活動業務の割合が高い。部活指導の負担軽減に指導員を配置すべきでは。

Q 市長・副市長 28年12月現在、全国で138の自治体(府内では5市町)が登録。引き続き申請受付されているので、どのように関わることができる。まちが盛り

A 市長・副市長 28年12月現在、全国で138の自治体(府内では5市町)が登録。引き続き申請受付されているので、どのように関わることができる。まちが盛り

Q 長時間勤務の是正に向け、府の教育委員会は「教職員の働き方改革推進本部」を設置しているが、市の対応は。

A 教職員の働き方改革を

Q 公設公営のメリットは、諸経費の負担が少ない、ベテラン保育士が多い、離職率が低い、アットホームな雰囲気である。この部分が解決された上での統廃合か。

A 健康福祉部 民間の保育園では、福祉の観点も十分に認識した上

Q 公設公営のメリットは、諸経費の負担が少ない、ベテラン保育士が多い、離職率が低い、アットホームな雰囲気である。この部分が解決された上での統廃合か。

A 健康福祉部 民間の保育園では、福祉の観点も十分に認識した上

保育園の民営化計画を問う 効果的な保育事業のため



会派に属さない
九社前 津朗

Q 東中央線が供用されると城山台、梅美台、州見台にアクセスできる。また交通量も対応できる構造物と認識している。

A 教育部 2月の検査では、換気が基準値を上回ったが、その他は下回っている。換気を行うことで影響はない。夏の検査は、まだデータはない。

Q 中廊下式を採用したことによる温度、湿度、通風、内部発熱、生徒発熱の検査、CO2の発生量は。また、生徒の命の大切さ安全・安心の観点から2回点検を行っているのか。

A 教育部 2月の検査では、換気が基準値を上回ったが、その他は下回っている。換気を行うことで影響はない。夏の検査は、まだデータはない。



中廊下式の棚倉小学校

Q 中廊下式を採用したことによる温度、湿度、通風、内部発熱、生徒発熱の検査、CO2の発生量は。また、生徒の命の大切さ安全・安心の観点から2回点検を行っているのか。

A 教育部 2月の検査では、換気が基準値を上回ったが、その他は下回っている。換気を行うことで影響はない。夏の検査は、まだデータはない。

瓶原木津川アートの成功に向けて 意識を醸成していきたい



民主未来クラブ
炭本 範子

Q 木津川アート2018を瓶原に選定した理由は。

A 木津川アート2018を瓶原に選定した理由は。

Q 今後の取り組みは。

A 今後の取り組みは。

Q 住みたい人のために行政ができることは。

A 住みたい人のために行政ができることは。

Q 農村ライフを求める人のために、空家付

A 農村ライフを求める人のために、空家付

Q 藍咲学園は城山台への保育園児の送迎返却は。

A 藍咲学園は城山台への保育園児の送迎返却は。

Q 園が存続する限り、返却はない。

A 園が存続する限り、返却はない。

Q 健康福祉部①原則で

A 健康福祉部①原則で

Q 29年10月、30年3月。

A 29年10月、30年3月。



移住・定住の促進を瓶原に

市民の誇り加藤九段に名誉表彰を 加藤九段の協力は困難だ



木津川の会
森本 茂

Q あの藤井聡太四段は14歳2カ月でプロ棋士になられ、加藤一二三九段の14歳7カ月の最年少記録を更新された。29連勝の初戦の相手も加藤一二三氏であった。加藤氏は福岡県出身だが、故

A 藤井聡太四段は14歳2カ月でプロ棋士になられ、加藤一二三九段の14歳7カ月の最年少記録を更新された。29連勝の初戦の相手も加藤一二三氏であった。加藤氏は福岡県出身だが、故

Q 木津高を卒業された。引退された今、①名誉市民表彰を。②庁舎1階でパネル展示等を。③日本アマ将棋大会を催し、ブームを興せ。

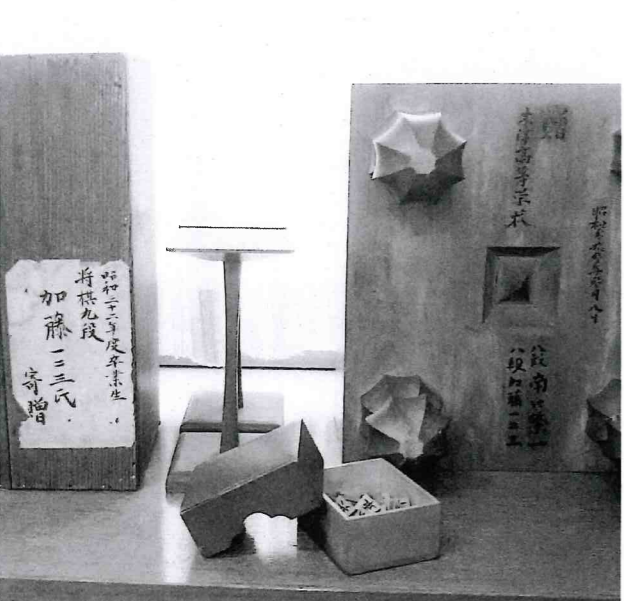
A 木津高を卒業された。引退された今、①名誉市民表彰を。②庁舎1階でパネル展示等を。③日本アマ将棋大会を催し、ブームを興せ。

Q 副市長・マチオモイ

A 副市長・マチオモイ

Q 副市長・マチオモイ

A 副市長・マチオモイ



昭和33年加藤八段(当時)寄贈の将棋盤・駒(木津高校)

組合議会報告

役職の改選

(相楽郡広域事務組合)

5月26日、臨時会開会。同意1件を審議。

議長には伊藤紀味枝、副議長に北猛氏(南山城村)を選出。議会運営委員長には西山幸千子、副委員長には田中良三氏(笠置町)を選出。

5月14日の精華町議会議員選挙、木津川市議会、和束町議会の役員改選により、役職改選を行った。議長には高味孝之、副議長に杉浦正省氏(精華町)を選出。

5月26日、臨時会開会。同意1件を審議。

議長には森本茂、副議長に岡本篤氏(精華町)を選出。管理者には木村要精華町長、副管理者には河井市長が選出。

全員賛成で同意

管理者より、病院事業の決算見込みは、給与費が増加し、約1億2300万円の支出超過見通し。介護老人保健施設事業の決算見込みは、約100万円の黒字決算見通しの報告があった。今春は55人の新採職員を迎え、昨年比で医師は5人、看護師は25人の増員の報告があった。



京都山城総合医療センター

承認第1号「退院支援室設置及びシステム情報管理室設置の組織条例改正の専決処分」。

全員賛成で承認

役職改選決まる

(西部塵埃処理組合)

5月29日、臨時会開会。人事案件を審議。

議長には森本茂、副議長に岡本篤氏(精華町)を選出。管理者には木村要精華町長、副管理者には河井市長が選出。

全員賛成で承認

28年度補正予算第2号の専決処分。

議長には高味孝之、副議長に岡田勇氏(和束町)を選出。

ポンプ車を購入

(相楽中部消防組合)

5月30日、臨時会開会。承認1件、議案1件、同意1件を審議。

議長には高味孝之、副議長に岡田勇氏(和束町)を選出。



相楽中部消防組合木津西出張所

役職改選決まる

(加茂笠置組合)

6月1日、臨時会開会。同意1件を審議。

議長に酒井弘一を選出。議会運営委員長には河口靖子を選出。

監査委員には炭本範子を選出。

全員賛成で同意

全員賛成で可決

木津西消防車整備事業として、財産の取得の件を審議。緊急車両等更新計画に基づき、消防ポンプ自動車1台を3884万円を更新。

監査委員には廣尾正男氏(南山城村)を選出。

全員賛成で同意

全員賛成で同意

監査委員には長岡一夫氏を選出。公平委員には七条孝之氏を選出。

3月定例会の審議結果の報告など、市政全般にわたり市民の皆さんと意見交換を行った。

東部交流会館 (参加者13人)



Q JR木津駅の東側は、農道整備が不十分。農業後継者不足の問題や、駅東西をつなぐ道路も未整備の状態である。議会も早期整備に向け、協力してほしい。

A 道路は、本来まちなぎ前に完了するべきであったと思う。議会としても早期に完成するよう努力したい。

Q 普通教室の空調整備にPFIの手法を検討とあるが、3820万円もかかるのか、目的は。 A PFIは工期の短縮化と費用の平準化がメリットである。現在、市が検討に入ったばかりである。

Q 議会自らが提案して議決事項となっている総合計画審議会に加入しないよう条例改正したが、他にも議員が委員会に参加しているものは。 A 都市計画審議会は法律により委員に加わっている。その他はない。

加茂文化センター (参加者11人)



Q 副地域長を複数から1人にするよう進めているが、地域によっては不測の事態に1人では対応できない。議会としても慎重に対応してほしい。 A 議案が提出されたら慎重に審議する。

Q 山城学校給食センター存続の請願が不採択となり残念。議員の思いは。 A (請願に反対者) 有利な財源が使える、厨房機器の老朽化、安心安全な給食を継続して提供する等の理由により、反対。

(請願に賛成者) 災害時の備えとしても施設は重要。地域の声や大規模な施設になると十分なアレルギー対応はできないと考え、賛成。

Q 幼稚園、小・中学校のエアコン導入のスケジュールは。 A 今年度は、PFI方式で進めるかどうかの検討をする。決定次第導入を進める。

30年度に工事開始予定。

アスピアやましろ (参加者1人)



Q 議会報告会の参加者が少ない原因は。

A 駅前のチラシ配布等実施しているが増えない。今後も参加いただけるよう努力する。

Q 都市下水路の泥上げなど地域で行っているが、高齢化のため、市で実施できないか。 A 大変なことは理解する。市に伝える。

市長に概要を報告

今後の市政に生かすため、正副議長と議会運営正副委員長の4人から市長に対し、「市民と議会のつどい」の実施報告書を手渡し、行政への要望等会場での意見交換の内容を伝えた。

5月28日

市民と議会のつどい